

研究部会活動報告

古川陽二
(研究部会長)

1. 公開法律シンポジウム「現代の法律問題を考える」(第9回)の開催

今年で9回目を迎えた公開法律シンポジウム「現代の法律問題を考える」は、記録映画「日独裁判官物語」に描かれている日本とドイツの裁判官の日常を比較しながら、現在の日本の司法の問題点—裁判官の市民的権利の問題、司法の行政・立法からの独立などを浮かび上がらせることを通して、市民の立場から司法改革のあり方、司法の今後を考えることを目的として、「市民に開かれた裁判とは何か」というテーマで開催された。

今回のシンポジウムは、開催日程の調整が十分に整わなかったこともあって、出席者は学外者を含めて30名前後と、例年に較べるとかなり寂しいものになってしまった。しかし、例年、司会をお願いしている木村弁護士の絶妙な弁舌と、記録映画の上映、その編集に携わられた高橋弁護士による鋭い問題提起は、参加者の関心を喚起するに十分なものであったということができよう。

シンポジウムの開催日時、司会者および講師等は、以下の通りである。

日 時： 1999年12月15日(水)板橋校舎1号棟213教室
テ ー マ： 「市民に開かれた裁判とは何か」
—記録映画「日独裁判官物語」を手がかりに—
司 会： 木村 晋介 氏(弁護士)
講 師： 高橋 利明 氏(弁護士)

なお、本シンポジウムは、大東文化大学法学部法政学会の後援を受けたことをお断りしておく。

2. 研究班の現況

研究部会は、昨年度、新たに編成し直された4つの研究班に対して、引き続き研究助成を行った。

各研究班では、金沢大学などへの調査(法律情報研究班)や、定例研究会・研究合宿の開催(フランス近代法研究会)などを行っており、徐々にではあるが成果の公表に向けた準備が整いつつある。また、現代人権研究班には、法学部法律学科に新規採用された苑原

俊明教授が加わった。

2000年度は、調査・研究期間（3年間）の完成年度にあたることから、より一層活発に調査・研究活動を進め、当初の目標を達成することが期待される。

なお、研究班の名称と構成は、次のとおりである（*印は責任者）。

①フランス近代法研究班

*江藤价泰（法学部法律学科教授） 瓜生洋一（法学部政治学科教授）
荻原貞正（法学部法律学科教授） 白石裕子（法学部法律学科助教授）
貴田 明（文学部英米文学科助教授） 尾中普子（本学名誉教授・東京国際大学教授）

②現代人権研究班

*越路正巳（法学部法律学科教授） 石山文彦（法学部法律学科教授）
苑原俊明（法学部法律学科教授） 町井和朗（法学部法律学科教授）
木原正雄（法学部法律学科助教授）

③法律情報研究班

*野口昌宏（法学部法律学科教授） 小松 進（法学部法律学科教授）
浅野美代子（法学部法律学科助教授） 木原正雄（法学部法律学科助教授）

④医療と法律研究班

*小松 進（法学部法律学科教授） 柴田敏夫（法学部法律学科教授）

（研究員の任期は、1999年1月13日から2000年3月31日まで）

3. 定例研究会の開催

今年度から、研究班の研究活動の促進を図るための新しい試みとして、各研究班からの研究報告を研究会の中心に据えることにした。これによって、1998年度から年4回の開催をめざしてきた研究会活動は、ようやく定着したということができよう。

しかし、専門領域を異にする教員間の研究会であることから、ともすれば親睦会的な性格を帯びざるをえないことや、開催日程がどうしても学内の諸会議と重複せざるを得ないため、出席者が必ずしも多くないという問題点は、なお解消しえていないように思われる。今後の研究会の消長にも影響を及ぼしかねない問題であるだけに、これをどのように解決していくのか、真剣に検討していく必要がある。

なお、今年度の研究会の報告テーマと報告者は、以下のとおりである。

第1回 1999年6月16日（水）

テーマ：実践的法学教育論—法的思考力育成のために—

報告者：伊藤滋夫氏（法学部法律学科教授）

第2回 1999年7月14日（水）

テーマ：フランス革命時の民事立法

報告者：フランス近代法研究班：白石裕子氏（法学部法律学科助教授）

コメンテーター：荻原貞正氏（法学部法律学科教授） 貴田晃氏（文学部英米
文学科助教授）、尾中普子氏（本学名誉教授・東京国際大学教授）

第3回 1999年10月20日（水）

テーマ：「法情報学」の意義と展望

報告者：法律情報研究班：野口昌宏氏（法学部法律学科教授）、浅野美代子
氏（法学部法律学科助教授）、木原正雄氏（法学部法律学科助教授）

第4回 2000年1月19日（水）

テーマ：先住民族の権利について

報告者：現代人権研究班：苑原俊明氏（法学部法律学科教授）

なお、各研究報告の概要については、『所報』の該当頁を参照されたい。